



長野県松本市議会を調査

長野県松本市議会の一般質問は、会派に基本時間と議員数による加算時間を与え、質問人数や時間割振りは会派に任せられています。本市議会では、会派の代表質問と個人質問を区分しており、今後、より分かりやすく効果的な手法を考える際は、会派制における質問のあり方も考慮しながら検討する必要があります。

また、松本市議会の当初予算説明会では、審査の効率化・充実化を図るため、

議会運営

政策提案・提言など  
先進的取組みを調査

11/8 ~ 11/9

各常任委員会での審査に先立ち、全議員対象の予算案説明と質疑が行われます。本市議会における予算・決算の審査は、更に効率的で効果的な審査ができるよう、他の事例も引き続き調査し、必要なものは取り入れていくことが重要です。

その他、松本市議会の政策提案・提言の取組みでは、各常任委員会で毎年テーマを決定し研究を重ね、全議員での政策討論会を経て市長に提言書を提出し、提言が実現した事例もあります。

市民との意見交換の取組みでは、各種団体との意見交換会を毎年開催、また、「ステップアップ市民会議」で市民から議会運営について意見をいただくなど、市民の意見を積極的に反映させようとしています。

これらの先進的事例も参考としながら、「市民から信頼される開かれた議会」を築くための取組みに努めていく必要があります。

広報編集

議会広報モニター  
制度を調査

11/12 ~ 11/13

長野県飯綱町議会では議会広報モニターを設置しており、議員のいない集落から女性、若者を重視して2人から3人程度モニターとして選考していました。アンケートは担当議員がモニターへ直接配布し、回収をしていますが、100項目以上の意見や要望が寄せられ、議会だよりの紙面改善に生かす、町に対する要望は担当課と共有しているとのことでした。

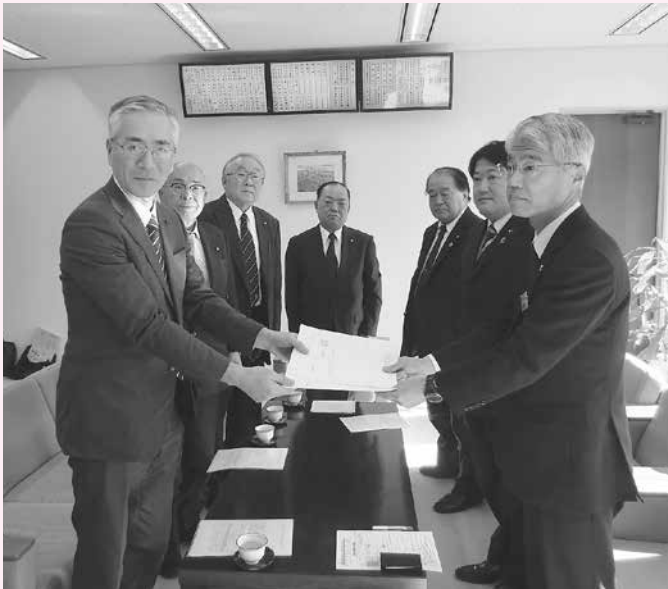
この制度により、モニターが自発的に周りの住民に議会の様子を話してくれるようになり、議会を応援してくれる様になりました。また、議員職に対して興味を持つ方もおり、モニター経験者の2人が議員になりました。



長野県諏訪市議会のモニター制度を調査

アンケートのほかに、ワークショップ形式のモニター会議を行い、「どうすれば議会だよりの読んでもらえるか」などのテーマを設定して意見を聴取していました。栗原市議会でも市民の意見を議会だよりや議会活動に反映させる、手法としてこの制度などを活用した編集方法を参考にし、より一層読みやすく、分かりやすい「議会だより」の紙面づくりに努めて行きたいと思えます。

宮城県に直接  
意見書提出



宮城県庁を訪問し、意見書を手渡した

12月定例議会で可決された「宮城県種子条例の制定を求める意見書」と「河川の支障木の伐採、堆積土砂の撤去等早急な水害予防対策の実施を求める意見書」は、平成31年1月18日に熊谷義彦県議会議員、長谷川敦典議会議員と栗原市議会の議長、副議長、産業建設常任委員会委員長および副委員長で宮城県庁および宮城県議会を訪問して要請してきました。

意見書の内容については6ページのとおりです。